

奥出雲町合併10周年記念事業

奥出雲オーガニック元年

『100年ごはん』映画祭 in 奥出雲

- 日時 平成27年4月18日(土) 13時00分~16時00分
- 内容 基調講演:「今、油がのっています」【守口 徹教授(麻布大学)】
上映会:『100年ごはん』(65分)
トーク:『100年ごはん』で伝えたいこと【大林 ^{ちくみ} 千菜萁監督】
- 会場 カルチャープラザ仁多 3階大ホール
- 入場料 無料
- 主催 奥出雲町健康食品産業生産者協議会、奥出雲エゴマの会
- 共催 奥出雲町、奥出雲町教育委員会、奥出雲町商工会、仁多米振興協議会

【物語】

「新しいけど、昔から大切なこと。健全な魂は、健康な食べ物から。健康な食べ物は、健全な土から」。無化学合成農薬・無化学肥料の野菜作りを推進する大分県臼杵市は、2010年に、草木8割、豚糞2割を主原料とした堆肥を製造する「臼杵市土づくりセンター」を開設。慣行農業から有機農業に転換する生産者や、あたらしく農業をはじめ市民が現れる。そして、マーケットの現状は?消費者は?——。将来的には子どもたちの給食を臼杵の野菜でまかないたい。全国でもはじめての試みに試行錯誤しながらも、臼杵市と市民たちが前へ向かってゆく姿をとおり、現代の「食」にとって何がほんとうに大切かを考える、“ワタシ”から“アナタ”へ宛てたメッセージ。

大林 ^{ちくみ} 千菜萁監督



【解説】

はじめの一步は百歩分!有機農業をめぐる大分県臼杵市の人人の記録映画。やがてその取り組みは農業だけでなく、林業、教育、給食センターや飲食業、NPOへと繋がり、人人の暮らしの中へと広がってゆく。「いまのワタシ」(近衛はな)が「100年後のアナタ」(大谷賢治郎)に語りかけるというドラマを編み込むことで、「過去」「いま」「未来」は地つづきであると、立体的に浮かびあがる。料理家でもある大林千菜萁監督は、この作品のために4年間臼杵市に足を運び、撮影素材は120時間。音楽には数多くの映画音楽で活躍する山下康介。主題歌に宮武希。おいしい臼杵のお野菜と共に描かれる“自然との共生=リビング・ハーモニー”を奏でる人人の群像劇。

<お問い合わせ先>

奥出雲町健康食品産業生産者協議会
(株式会社奥出雲中村ファーム内)
電話:0854-52-1075
E-mail:naka-kou@mx.miracle.ne.jp

